

(別添 4)

【宇陀市】

1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1. 1 人 1 台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

本市では「宇陀市学校教育の指導方針」において、学校教育の重点項目の 1 つに、児童生徒の情報活用能力の育成とこれらを適切に活用した学習活動の充実を図るとともに、ICT を活用した主体的・対話的で深い学びを実現するとしている。

具体的には、1 人 1 台端末と高速大容量の通信ネットワーク等を通じて、情報を収集活用し、自ら発信する力を養い、本市の取り組みであるアントレプレナーシップ教育を推進していく。

2. GIGA 第 1 期の総括

県下自治体による一括購入により令和 2 年度 10 月末に市内児童生徒全員へ 1 人 1 台端末を整備して以降、大型提示装置を導入するなど授業における環境整備が進んだ。

一方で家庭での端末利用促進と家庭間格差の是正を目的にモバイルルーターを通信環境のない家庭向けの貸与を行った。また、ICT 支援員 2 名を雇用し、市内 10 小中学校を巡回する体制を整えてきた。結果として、端末利用がより身近になり授業での活用も行われるようになった。その一方の課題として、ICT 活用スキルの教員間の格差、個別最適な学びへの対応などが挙げられる。これを解決する手段として各校に ICT 教育推進リーダーを設置し、情報の発信共有を通じてスキル差をなくすべく取り組んでいく。

3. 1 人 1 台端末の利活用方策

GIGA 第 1 期における端末整備により、授業での活用等で一定の成果が表れた一方で、児童生徒の個別最適な学びを提供するといった点で、より充実した端末の利活用が必要であると考えられる。

そこで、1 人 1 台端末の更新と同時に、授業等で使用するドリル学習ソフトの授業支援ソフトについても見直し、個々の学力・学習意欲に即した形で出題できるソフトなどへの変更を検討する。その際には教育委員会事務局のみではなく、現場の教員にも検討に参画を依頼し学校現場のニーズにも応えられるよう配慮する。

また、不登校児童生徒の端末を活用した授業参加・視聴機会の提供、教育相談・カウンセリングへの端末活用など学びの保障に関しても拡充していく。

これらを実現していくには、児童生徒の 1 人 1 台端末が整備されている環境が前提条件となる。このことから、今後も引き続き端末の整備・更新を随時行い、1 人 1 台端末環境を維持していく。